もう一つの事実（オルタナティブ・ファクト）

米国に来たイラク人が、アルカイダへ武器を送ろうとして逮捕された。オバマの対策は入国審査強化。

これがトランプ陣営にかかると

入国したイラク人が虐殺事件の首謀者となりオバマ大統領がイラク難民受け入れを六ヶ月禁止したがマスコミは報道していない。

となる。

大統領就任式の観衆の数がオバマより多かった云って、写真を示されると大統領報道官は「**あれはオルタナティブファクト（もう一つの真実）だ**」即ち「証拠とは別の真実があったんだ」と述べた。

「米国のこと」と・・

他国のことと笑っていられるだろうか？

稲田防衛相は「戦闘行為とは国家または国家に準ずる組織間の紛争の一環として行われる人を殺傷し、または物を破壊する行為。スーダンで戦闘した前副大統領派は『国に準ずる組織』ではないので殺し合いをしても戦闘ではない」という。

これじゃ「いくらドンパチやっても『紛争の一環ではない』と云えば戦闘でなくなる」なんて話も出てきそう。

安倍首相のウソ

IOC総会で「福島はコントロールされている」と演説。汚染水はどんどん増えている。第一メルトダウンした核燃料がどこにあるのかさえ分からない。

「政治家とはウソと詭弁を弄する仕事」と子供達は理解するようになる。

皆さんはどう思われますか？

阿妹茶酒館

台湾　新北市瑞芳区九份（きゅうふん）

二〇一七年一月

九分（にんべんに分）は台湾の北東端の山間の町。そこで一八九四年頃、金鉱が見つかった。一八九五年からの日本の統治下では藤田組が金を採掘。町は繁栄し、料理屋などが沢山建てられた。

この街並みが、宮崎駿のアニメ「千と千尋の神隠し」の湯婆婆の湯屋を彷彿とさせるというのでので日本人観光客の人気を博した。

一方、一九四五年に日本が敗戦。大陸から来た国民党の抑圧に元々いた台湾人は抵抗。しかし、結局は国民党軍に圧倒された。

そんな台湾人の抵抗と悲哀を描いた映画「悲情城市」が一九八九年に作られた。その舞台となったのが、この九分。

この為、台湾人にとっても大変人気のある観光地となった。